まちから見た北海道新幹線

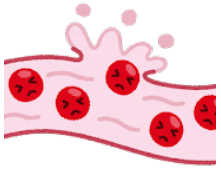
池ノ上　真一
北海商科大学

「まちを診断する」という考え方

都市の生活習慣病（成人病）

1．メタボリック症候群（肥満）

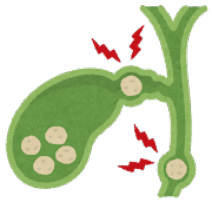
2．高血圧



3．骨粗鬆症

4．がん

5．細胞老化



6．冷え性

7．糖尿病

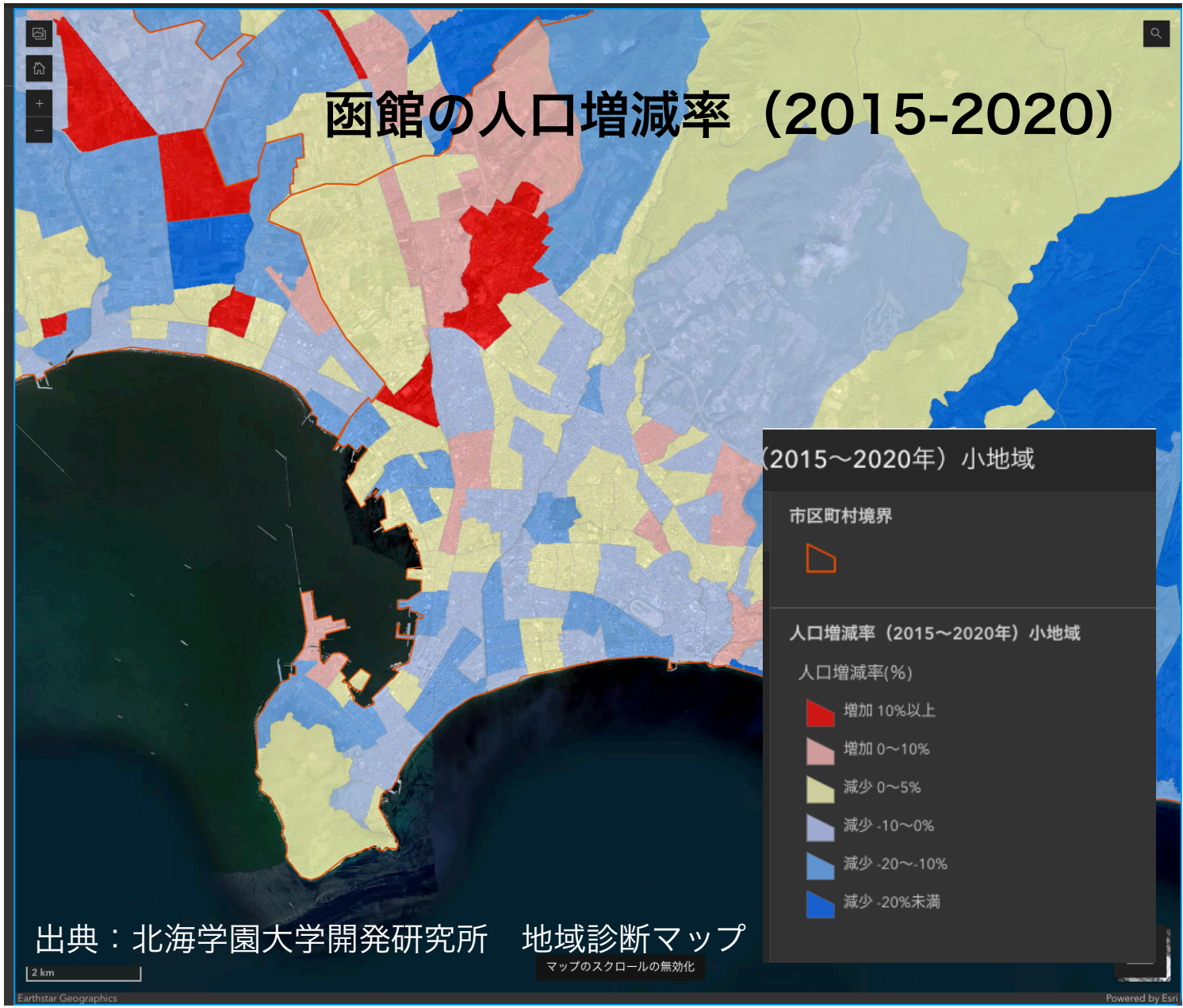
8．引きこもり・鬱

9．突然死

出典：谷口守『生き物から学ぶまちづくり　バイオミメティックスによる都市の生活習慣病対策』コロナ社、2018

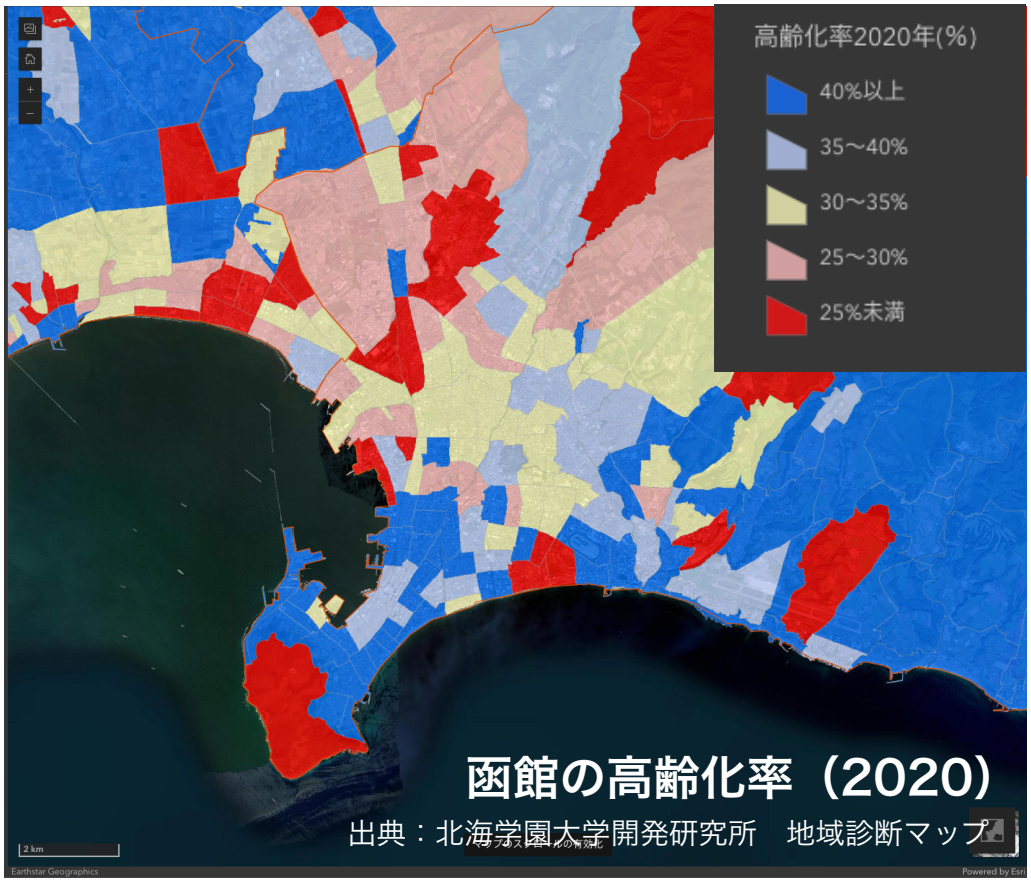
函館の病気は

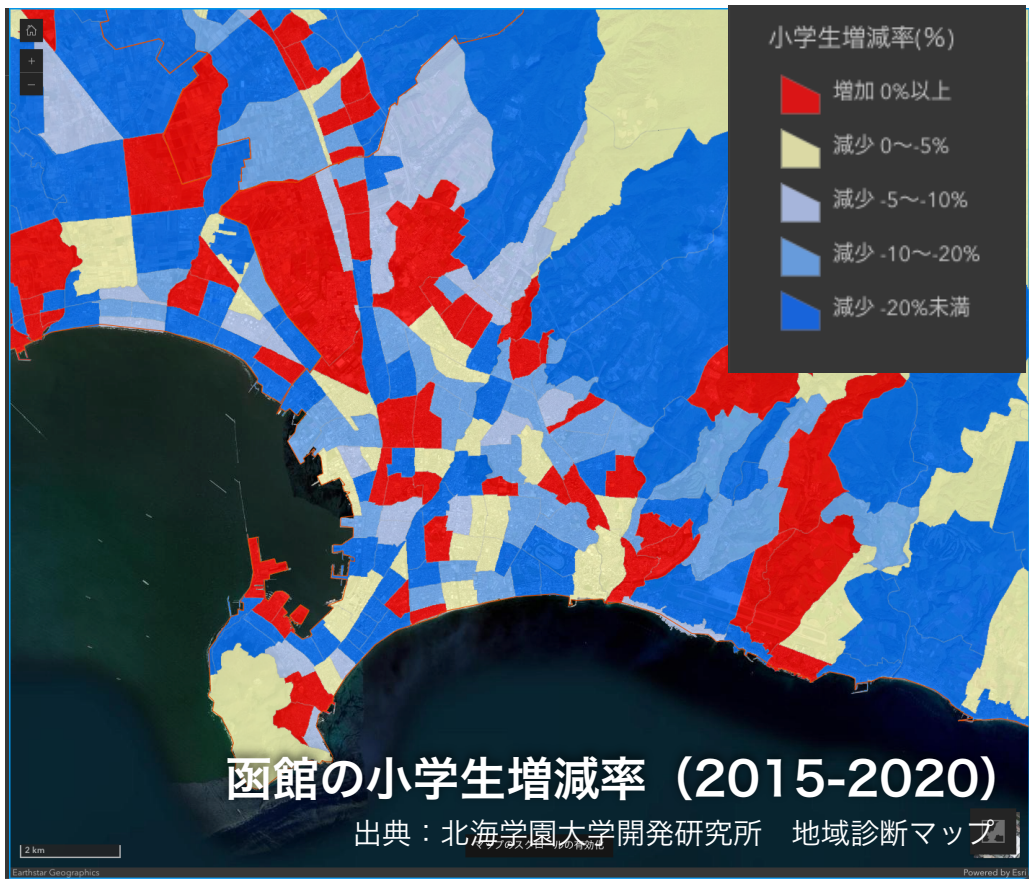
なんだろう？



函館の病気はなんだろう？

確かに少子高齢化は進んでいるが。





函館の病気はなんだろう？

人口減少激しい

モータリゼーションもまだまだ健在

クルマ便利

都心の肥大化や郊外開発による力の分散

観光客いっぱい

観光に引っ張られる飲食業の形態（朝市の拡大）

水産の研究

飛行場近い

外部資本による宿泊施設の乱開発

クルーズ船

電車便利

観光客いっぱい

新幹線来る？JR撤退？

観光客いっぱい

FIT化への対応の遅れ

歴史のまち

人流は恒常的？

商業（小売業）の低調

函館の病気はなんだろう？

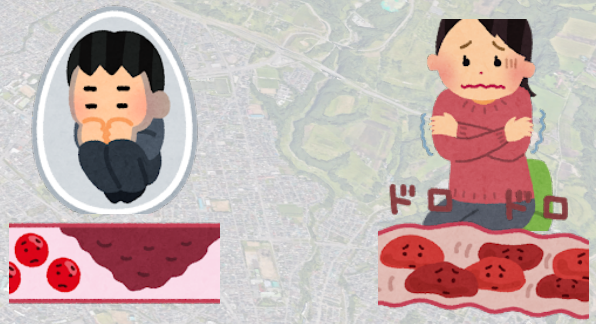
過食？

魅力

身体・栄養
バランスは？

臓器は？

細胞は？

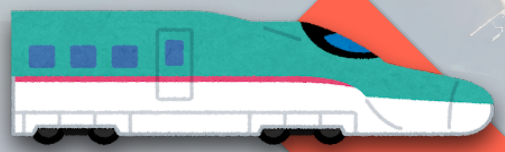


毛細血管・消化器系

大動脈

画像 ©2024 Google、TerraMetrics、Data SIO, NOAA, U.S. Navy, NGA, GEBCO、Airbus、地図データ ©2024 日本 利用規約 プライバシー サービスに関するフィードバックを送信 500 m

観光（人流と交流）はどんな効能？



カンフル剤？
輸血？
定常？

環境

インフラ整備
環境負荷の増加
生活の質の低下

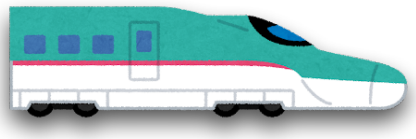
経済

外部からの投資、外貨獲得
経済の不安定性・雇用の脆弱性

文化

地域文化の発信・保護
異文化交流
地域文化の商業化・ニセモノ化

函館に必要な処方箋は？



○栄養摂取の平準化

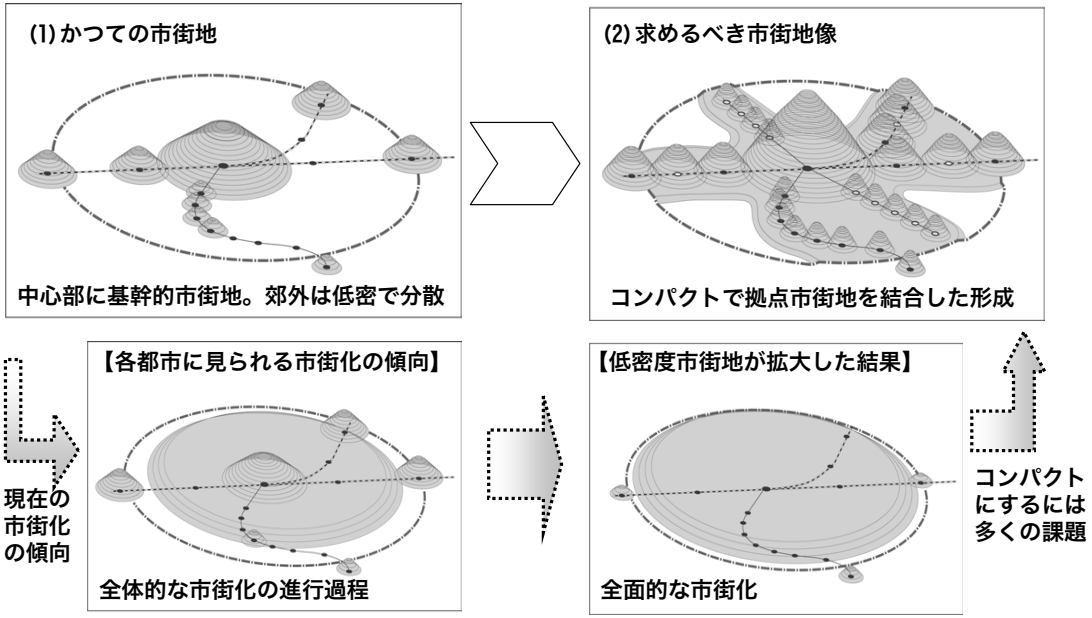
○計画的なダイエット

○適度な有酸素運動

○緊急治療は必要か？

○これまでの都市構造の成り立ち

- 戦後、各都市における市街化は公共交通沿線に沿い発展
- これまでモータリゼーションの進展とともに低密度の市街地として拡張
- 拡張した市街地を望ましいコンパクトな市街地に再編するには多大な費用が必要



出典：コンパクトなまちづくりの概念とその必要性（国土交通省資料、2007）